

学年	高校2年	教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位数	5
教科書名	ELEMENT English Communication II (啓林館)			副教材名	速読英単語 必修編 (Z会出版) ワイドアングル5 訂版 BOOK3 (美誠社) Focus on Listening Standard (エミル出版)		
コース・クラス	選抜文系						

I. 目標

大学入学試験で出題される読解問題とリスニング問題において、国公立や難関私立大学の問題に対応できる力を身に着ける。特に、英文を正しく理解する力（英文解釈）と、文章の構造と論理展開を理解する力を重視する。また、英検2級相当の英語運用力（CEFR B1）以上を目標とする。

II. 授業のねらい

- 毎週の英単語テストで、語彙力を向上させる。
- 教科書、副教材を用いて長文問題を多く解くことで、文章理解力を向上させる。
- ディスコースマーカーやポイントとなる表現に注目させて論理展開を理解させる。
- リスニング教材を用いることでリスニング能力を向上させる。

III. 授業の進め方

- 教科書 ELEMENT について
ポイントとなる構文・文法の確認と、文章の論理展開を学ぶ。
- ワイドアングル5 訂版 BOOK3 について
適宜、長文問題に触れることで文章の論理展開を学ぶ。また、週末課題としても取り扱う。
- Focus on Listening Standard について
適宜、リスニング問題を扱うことでリスニング能力養成する。

IV. 学習上の留意点

授業の予習として教科書本文の和訳をしておくこと。自身が分からないことを明確にして授業に臨むことで、授業の理解度を上げるとともに、効率的に英語力を向上すること期待できる。そして、授業の復習として音読を繰り返し行うこと。

V. 定期試験

- 1 学期 中間試験 : ELEMENT (Lesson 1)
- 1 学期 期末試験 : ELEMENT (Lesson 2, 3)
- 2 学期 中間試験 : ELEMENT (Lesson 4)
- 2 学期 期末試験 : ELEMENT (Lesson 5, 6)
- 学年末 : ELEMENT (Lesson 7, 8)

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト（英単語テストを含む）、提出物、授業中の取り組みなどを勘案して評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	ELEMENT (Lesson 1)	定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名詞句(節)、形容詞句(節)、副詞句(節)の見極めができる。 ・ 文構造を正しく読み取れる。 ・ 論理展開を読み取れる。 ・ 解法のポイントを理解できる。 ・ Listening 問題へのポイントを理解できる。
	5		小テスト	
	6	ELEMENT (Lesson 2, 3)	提出物	
	7		授業の様子 その他課題	
		WIDE ANGLE (1~6) Focus on Listening Standard (Training 1~8)		
二学期	9	ELEMENT (Lesson 4)	定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名詞句(節)、形容詞句(節)、副詞句(節)の見極めができる。 ・ 文構造を正しく読み取れる。 ・ 論理展開を読み取れる。 ・ 解法のポイントを理解できる。 ・ Listening 問題へのポイントを理解できる。
	10		小テスト	
	11	ELEMENT (Lesson 5, 6)	提出物	
	12		授業の様子 その他課題	
		WIDE ANGLE (7~12) Focus on Listening Standard (Training 9~16)		
三学期	1	ELEMENT (Lesson 7, 8)	定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名詞句(節)、形容詞句(節)、副詞句(節)の見極めができる。 ・ 文構造を正しく読み取れる。 ・ 論理展開を読み取れる。 ・ 解法のポイントを理解できる。 ・ Listening 問題へのポイントを理解できる。
	2		小テスト	
	3		提出物	
		WIDE ANGLE (13~15) Focus on Listening Standard (Training 17~20)	授業の様子 その他課題	

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。

※ 上記の内容に加えて、週に1度ネイティブ教員による授業を行います。